

主要施策2 これからの社会に対応した人材育成

予算額 1,761,982 千円
 (前年度 1,456,728 千円)

【基本的な考え方】

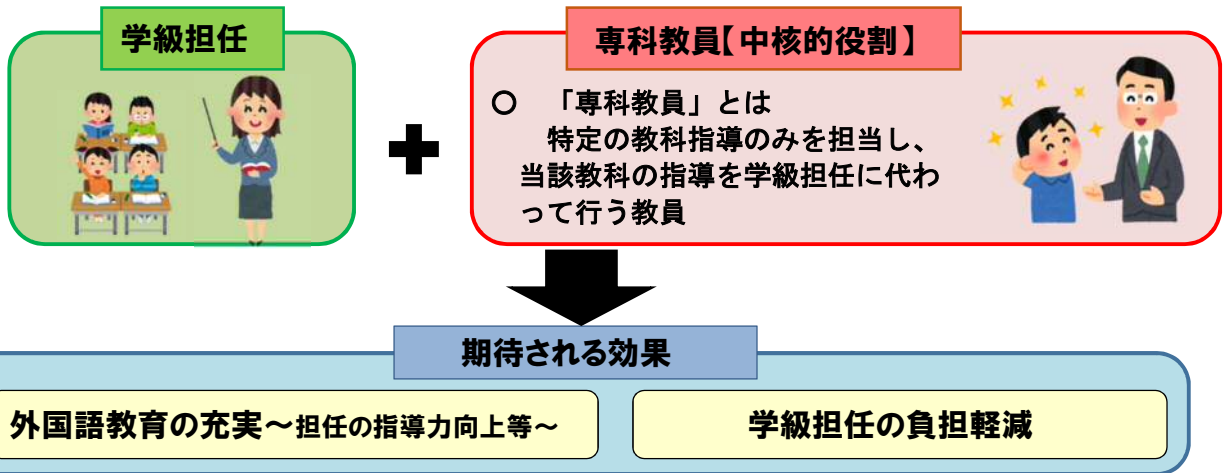
急速なグローバル化の進展や情報通信ネットワークの高度化など社会変化が予測を超えて進展する時代に、未知の状況にも対応できる人材を育成するため、英語でのコミュニケーション能力や情報処理能力を伸ばす教育環境を充実させる。

1 グローバル人材の育成

① 小学校外国語教育（英語）における指導体制の充実

市町村立小学校（政令市を除く）における外国語教育（英語）の教科化等への対応として、英語力を有し、質の高い英語教育を行うための専科教員を配置し、新学習指導要領の円滑な実施を図る。（小学校 40 人）

人件費対応



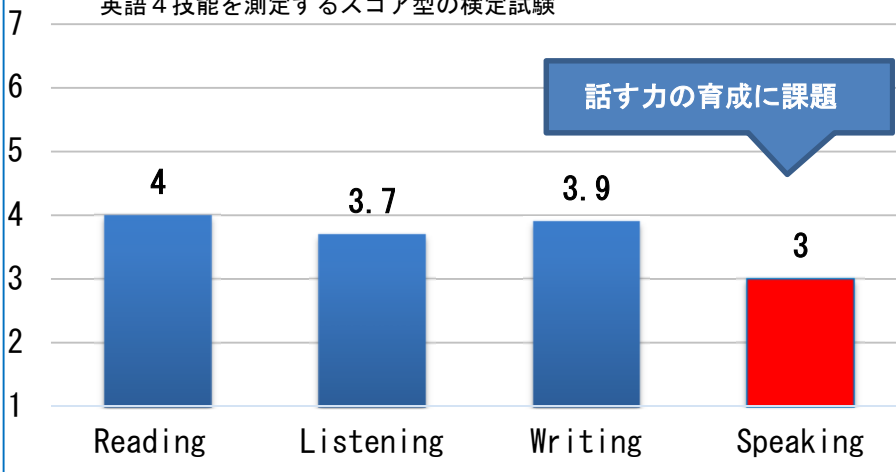
外国語教育の充実によるコミュニケーション技能の育成を図る

県立高校生の英語力（H29）

英語 4 技能別

平成29年度英語資格検定試験活用促進支援事業に
 おける20校27学年のGTECのスコアの平均値（7段階）

※GTEC (Global Test of English Communication)
 英語 4 技能を測定するスコア型の検定試験



② 外国人による語学指導推進事業費

<p>全県立高校等に配置している外国語指導助手（A L T）の業者委託の契約形態を請負委託から派遣へと変更することで、教員とのチーム・ティーチング等を可能にし、授業をさらに充実させて、生徒の英語による発信力（話す力）を強化する。〔H30 年度：2,140 時間配置（委託）⇒ H31 年度：2,414 時間（派遣）〕</p>	357,045 千円
--	------------

③ 英語資格検定試験活用促進支援事業費

<p>英語資格・検定試験の受験を促進するため、英語資格・検定試験の受験に係る支援を実施し、生徒の英語 4 技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）をバランスよく育成するとともに、県立高校等の外国語（英語）科教員の授業改善のための活用を図る。（8,000 人を上限として、検定料の半額程度を補助）</p>	34,880 千円
---	-----------



外国語指導助手による授業の様子

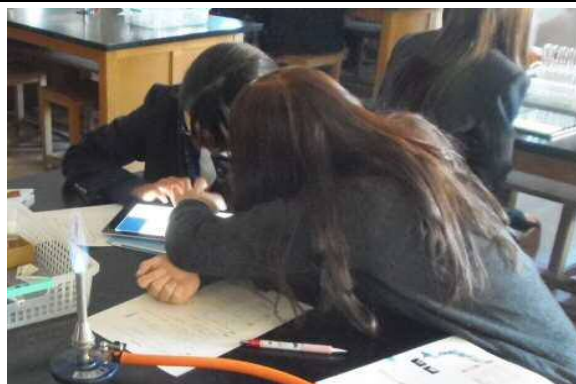
2 情報化社会を生き抜く人材の育成

④ 高等学校用パソコン借上整備費

<p>I C Tを活用した生徒の学習活動の充実を図るため、タブレット型端末を全県立高校等に追加配備する。（総台数 3,190 台→14,154 台）</p>	1,217,705 千円
--	--------------

⑤ 生徒用無線 L A N等整備事業費

<p>タブレット型端末の多様な活用に対応するため、全県立高校等に無線 L A N環境を整備する。</p>	152,352 千円
--	------------



I C Tを活用した授業の様子

(問合せ先)

- 【①】 教育局行政部教職員人事課 課長 舘 電話 045-210-8133
- 教育局支援部子ども教育支援課 課長 宮村 電話 045-210-8212
- 【②～⑤】 教育局指導部高校教育課 高校教育企画室長 倉田 電話 045-210-8370